

キャラクター名 『黒剣の使い手』アマジーン・マグリップ

プレイヤー名

種族	ナイトメア	種族特徴	異貌、弱点[風、銀+2]		
生まれ	戦士	性別	男	年齢	687
冒険者Lv	16	経歴	才能を絶賛された事がある		
経験点	3750		毒を飲んだ事がある 銃で撃たれた事がある		

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	9	29	2	47 + 2	8	ファイター	16		
体	15	敏捷度	10	11		28 + 2	5	プリースト/ヒューレ	14		
		筋力	1	8		24	4	レンジャー	10		
心	8	生命力	6	21		42	7	セージ	5		
		知力	5	37		50	8	エンハンサー	6		
		精神力	11	15		34	5	アルケミスト	5		

戦闘特技				言語			会話	読文
タフネス	2122 p	全力攻撃	IB36 p	巨人語		○	○	
ルーンマスター	IB34 p	魔力撃	IB39 p	交易共通語		○	○	
バトルマスター	3143 p	マルチアクション	IB39 p	ドラゴン語		○		
治癒適性	2122 p	超頑強	IB29 p	魔動機文明語		○	○	
不屈	2123 p	切り払い	FC26 p	魔法文明語		○		
ポーションマスター	2123 p		p	ザルツ		○	○	
鋭い目	2120 p		p	ユーレリア		○	○	
武器習熟A/ソード	IB31 p		p					
足さばき	IB29 p		p					
なぎ払い	IB38 p		p					
頑強	IB29 p		p					

練技/呪歌/騎芸/賦術		
キャッツアイ		
マッスルベアー		
ビートルスキン		
メディテーション		
リカバリエ		
ジャイアントアーム		
ヴォーパルウェポン		
クリティカルレイ		
パラライズミスト		
バークメール		
マナダウン		

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	16	24	21	20
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧 魔法のマナタイト加工のプレートアーマー			24	-2	9
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値	19	9	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イグニダイト製斬鉄剣+2	2H	15	2	2d+ 26	10	23	35										
<small>命中判定自動成功時、対象の防護点を0としてダメージを決定(魔法の武器+2)</small>																	
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
10 m	30 m	90 m	2d+ 19	9	135
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP	
2d+ 13	2d+ 0	2d+ 23	2d+ 22	76	

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	14	22			

装備品	説明
頭 先魁の聖印	ヒューレの聖印、後攻時に一度だけ補助動作が可能
耳 数多の蝙蝠の耳飾り	透明な相手や盲目によるペナルティを-2にする
顔 黒の眼帯	6時間の連続使用で知覚：魔法を得る
首 小熊の爪	MB+1
背中 野伏のサーマルント	炎・水・氷属性のダメージを-1
右手 敏捷強化の腕輪	
腰 アルケミーキット	
足 跳躍の羽	飛んでいる敵に対して近接攻撃のダメージ+2
その他	信念のリング

装備品	説明
浄化の聖印	
雷鳥の羽衣	雷属性ダメージ-3
左手 器用増強の腕輪	

その他メモ	自動失敗
魔動機文明アル・メナス時代後期に生まれたリルドラケンのナイトメア。幼少期に偶然ではあったが剣に触れ、その才を絶賛された事で剣の道に進むことを決意した。(もっとも競技剣術としてはあるが)魔動機文明崩壊までは世界中をめぐる、様々な強者と競い合ううちにヒューレの神託を受け何のために剣を振るうのかを考えるようになる。大破局を迎え、いつ終わるともしれぬ戦いに身を投じた後、自身の愛剣を喪失。力を持つ者としての責を最後まで果たすため、折れず曲がらぬ剣を求めようになったところで、イグニダイトを用いた武具の存在を知った。	チェック
イグニダイトを扱える者がサイクロパスのみである事を知るも諦めず、秘境を探索。サイクロパスと邂逅を果たした後、数多の試練を乗り越える事300年、ついにサイクロパスに認められイグニダイトを用いた武具を作成してもらった事となった。	□□□□⑤
そのサイクロパスの鍛冶師とは交流を続けてながらも、ヒューレ神官として鍛錬を積み旅を続けていたところ、駆け出し冒険者だった在りし日のマリア・バストゥール・フェラルディアに蛮族と誤解されて襲撃を受ける。	□□□□⑩
	□□□□⑮
	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

